

4月25日 先人への弛まぬ努力に敬意と感謝を 開拓記念式

沼田町の発展の礎を築いた先人たちの偉業を偲ぶ「開拓記念式」が4月25日（土）役場前庭にある開拓記念碑前で執り行われ、参列者は、先人のご労苦を偲び、町の更なる発展を祈願しました。

横山町長は、「JR留萌本線の廃止という歴史的転換点を再スタートとして、住んで良かったと思ってもらえる沼田町を目指して引き続きまちづくりに取り組んでまいります」と挨拶されました。



4月28日 パークゴルフシーズン開幕 町民パークゴルフ場オープン

町民パークゴルフ場が4月28日（火）オープンし、セレモニーには町内外から約20名のパークゴルフ愛好家が参加されました。

セレモニーで横山町長は、「今年もパークゴルフ協会に協力いただきながら、色々な大会を開催いたしますので、たくさんの参加をお待ちしております」と挨拶され、セレモニー後は、寒空に負けず待ちに待ったパークゴルフを楽しんでいました。



4月30日 北央道路工業株式会社が 沼田小学校駐車場区画線引きボランティア

町内の道路維持や除排雪を行う北央道路工業株式会社（札幌市：鈴木善人代表取締役社長）が4月30日（木）地域貢献事業の一環で沼田小学校（内藤竜治校長）駐車場の薄くなった区画線を新たに引き直していただきました。

北空知営業所維持担当の五島由紀夫主任は「今後も小学校を始め、地域に根差した取組を実施していきたいと思っています」と話されました。



5

健康づくりはみんなで楽しく

1

おはようラジオ体操開会式

沼田ラジオ体操会（篠原暁会長）、教育委員会が主催する「おはようラジオ体操」の開会式が5月1日（金）役場前広場（駐車場）で行われ、約60名の町民の方にご参加いただきました。

開会式では、篠原会長から「今年も毎朝元気にお会いしましょう」と挨拶がありました。

今年は10月4日（日）までの雨天を除く157日間の開催となります。皆様のご参加お待ちしております。



5

駅イベントで賑わい再び

2

石狩沼田駅・明日萌駅 GW イベント

3月末に廃線となった留萌本線の石狩沼田駅や明日萌駅で5月2日（土）から6日（水）「石狩沼田駅・明日萌駅GWイベント2026」が開催されました。

石狩沼田駅会場では、特産品の販売や雪町コーヒーの無料提供、明日萌駅では、鉄道グッズの販売やキッチンカーによる駅そばが販売されました。

また、留萌本線トロッコが特別運行され、5日まで旧石狩沼田駅構内、6日には、旧恵比島駅構内で、町内外から訪れた多くの家族連れや鉄道ファンが鉄路の面影を体感していました。

和歌山県から訪れた60代のご夫婦は、留萌本線トロッコに乗車され「廃線後の活用としてトロッコの運行はとても良い試みだと思います。とても良い経験になりました」と話されました。



5

交通安全意識の向上へ

7

夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が5月7日（木）沼田小学校駐車場で行われました。

今回の街頭啓発は春と夏の全国交通安全運動の期間に行われ、石田総隊長は「隊員の皆さまに協力をいただきながら、地域安全に取り組んでいきたいと思っています。引き続きよろしく願いいたします」と挨拶されました。

また来賓として、深川警察署沼田警察庁舎の中西孝志所長、町教育委員会の三浦剛教育長が出席され、改めて交通事故防止と防犯意識を高めました。



5

ごみのないきれいなまちへ

10

クリーン沼田空き缶回収一斉運動

沼田町社会福祉協議会と自治振興協議会、沼田町が主催するクリーン沼田空き缶回収一斉運動が5月10日（日）行われ、298名の町民の方々が市街地を中心に設定された5つのコースに分かれ、回収作業に取り組みました。

開会式で横山町長は「町民の方を始め各団体からのご参加ありがとうございます。引き続き、きれいなまちづくりへのご協力よろしくお願ひいたします」と呼びかけました。

作業終了後は、参加者の方々に沼田町交通安全協会からお茶が提供され、Numacaポイントも進呈されました。



5

地域一丸でグラウンドをきれいに

10

沼田学園グラウンド美化一斉運動

5月30日に開催される沼田学園の運動会を前に、5月10日（日）沼田学園グラウンド美化一斉運動が行われました。

このグラウンド美化一斉運動は、沼田学園学校運営協議会（松田剛委員長）が主催し、子ども達が気持ちよく運動会を迎えられえるよう行われたもので、町民の方が約150名集まり、小学校と中学校のグラウンドに分かれて雑草を丁寧に取り除きました。



5

自分らしく暮らせる社会へ

15

認知症教室フォーシーズン【春】

認知症フォーシーズン【春】が、5月15日（金）健康福祉総合センター「ふれあい」すこやかホールで開催されました。

今回は、「自分らしく暮らせる社会へ」をテーマにほっかいどう希望大使の松本健太郎氏、公認支援者の大辻誠司氏による講演が行われ、約40名が参加されました。

講演では、認知症の診断を受ける前と後の気持ちや環境の変化、日々の生活で工夫していることなど具体的なエピソードをお話しいただきました。



5

「沼田版シリコンバレーLAB構想」の実現に向けて

18

「地方創生伴走支援制度」の支援官が来訪

各府省庁の職員が地域の課題解決を助ける「地方創生伴走支援制度」の採択を受け、「地方創生支援官」として総務省、経済産業省、防衛省の3名が5月18日（月）、19日（火）沼田町を訪れました。

2日間で町内にテストセンターを置くハイテクインター株式会社（東京都渋谷区：旦尾紀人代表取締役社長）や暮らしの安心センター、雪の科学館などを視察し、「農村型コンパクトエコタウン構想」について説明いたしました。

今後、「沼田版シリコンバレーLAB構想」の具体化や実現に向けて現地視察やオンライン会議を通じて意見交換していきます。



5

1年を通してお米について学習します

21

沼田小学校 5年生田植え体験授業

沼田小学校（内藤竜治校長）5年生21名が5月21日（木）町とJA北いぶきの協力のもと、まえかわともき前川智基さんの圃場をお借りし、田植え農作業体験を行いました。

初めて入る田んぼでの作業に戸惑いながらも、慣れてくると友達と協力し合いながら、一株ずつ丁寧に苗を植えていきました。今後は、秋に稲刈り・脱穀・もみすりを体験し、その後精米して子ども達に美味しく食べていただく予定です。



5

今年のテーマは「まちづくり」

27

いきいき大学開講式

教育委員会主催の「令和8年度いきいき大学」が5月27日（水）開講しました。

今年は「まちづくり」をテーマに、全5回の講座でこれからの沼田町と其中でどんな役割を担っていくべきかを学んでいきます。

初回は、役場産業創出課の大原主査から「まちづくりハンドブック」の紹介、教育委員会教育課の松井主任学芸員から「沼田町の今と昔」について講演いたしました。



表彰 沼田町功労者表彰式

長年にわたり沼田町の発展に大きく貢献された功労者の方々を称える「沼田町功労者表彰」が4月25日（土）執り行われました。

平成20年9月から令和8年3月までの17年6カ月の間、公平委員としてご活躍され、また公平委員長（5年3ヶ月）を務められた田島博幸^{たじまひろゆき}氏（沼田4）に「自治功労者表彰」が贈られました。

また、民生委員児童委員として32年間という長きにわたりご活躍され、また会長（15年）を務められた故 須網賢一^{すあみけんいち}氏（幌比里）に「社会功労者表彰」が贈られました。

表彰式で田島氏は受賞者を代表して「表彰をいただいたのは、たくさんの方々に支えていただいたからです。これからもこの表彰に恥じぬよう努めてまいります」と挨拶されました。



▲田島 博幸 氏



▲須網氏の妻 敏子^{としこ}さんに伝達いたしました。



▲受賞者を代表して田島氏からご挨拶をいただきました。

原田氏に交通安全指導員を委嘱

新たに交通安全指導員になられた原田幸寿^{はらだともかず}氏（東予）に4月1日（水）委嘱状を交付いたしました。

横山町長は「交通事故のない町を目指して交通安全の意識向上にご協力お願いいたします」と話されました。

